

※詳細は 2026 年度入学試験要項で必ず確認すること

① 一般選抜概要

■ 一般選抜（A日程・B日程） 募集専攻

募集人員： A・B日程合わせて 110名

募集専攻	コース・楽器
声楽専攻	●声楽芸術
器楽専攻	●鍵盤楽器 ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース、チェンバロ、オルガン
	●弦楽器 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター
	●木管楽器 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン
	●金管楽器 ホルン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム
	●打楽器 (ティンパニ、小太鼓、マリンバ)
作曲指揮専攻	●作曲「芸術音楽コース」 ●作曲「ミュージック・メディアコース」 ●指揮
音楽文化教育専攻	
ミュージック・リベラルアーツ専攻	
吹奏楽アカデミー専攻	
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	

※ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コースについては、「対面式」と「非対面式(実技の動画審査)」から選択することが可能です。実技以外の試験科目は対面式での受験となります。

※ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ)、ミュージック・リベラルアーツ専攻(ピアノ演奏家コース)については、「対面式」と「非対面式(実技の動画審査およびオンライン面接)」から選択することが可能です。実技と面接以外の試験科目は対面式での受験となります。

※「非対面式」で受験する場合の面接は Zoomで行います。

※動画提出方法の詳細については、ホームページ入試案内(学部)の「演奏実技動画の撮影および提出方法について」を参照してください。

■ 日程

入試要項の発表	2025年10月上旬～	
	A日程	B日程
出願期間	2026年1月6日(火)～17日(土)	2026年2月28日(土)～3月6日(金)
試験期間	2026年2月16日(月)～20日(金)	2026年3月17日(火)～18日(水) ※一部の試験を3月16日(月)に実施
合格発表	2026年2月27日(金)15:00～ 3月1日(日)17:00	2026年3月19日(木)15:00～ 21日(土)17:00
入学手続期間	2026年2月28日(土)～3月6日(金)	2026年3月20日(金)～25日(水)

■ 試験科目

個別学力検査等	I. 各専攻（ミュージックビジネス・テクノロジー専攻はⅡ.を参照） 以下（1）～（3）より1つ選択。 （1）大学入学共通テスト* 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択） 「英語」は筆記とリスニングの双方を課す） 音楽文化教育専攻とミュージック・リベラルアーツ専攻は「英語」のみ選択可能 （2）本学が行う試験（英語） （3）資格試験（詳細は「出願時の英語資格・検定試験について」参照） Ⅱ. ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 以下（1）～（3）より1つ選択。 （1）大学入学共通テスト* の任意の1科目 （「英語」は筆記とリスニングの双方を課す） （2）本学が行う試験（英語または数学のいずれかを選択） （3）資格試験（詳細は「出願時の英語資格・検定試験について」参照）
実技試験等	●全専攻 各専攻入学試験科目

*大学入学共通テストの試験日は 2026 年 1 月 17 日(土)・1 月 18 日(日)です。詳細は「大学入学共通テスト実施要項」(大学入試センターホームページ)をご確認ください。

■出願時の英語資格・検定試験について

●一般選抜（A日程）

大学入学共通テストの「外国語」（専攻によっては「外国語」（英語））に代わるものとして、本学が行う試験（英語）の他、以下のいずれかの資格を利用できます。

出願時に該当資格試験証明書の原本を1種類提出することが必要です。

評定は、文部科学省が公表した CEFR との対照表に基づき、本学独自に換算します。

名称	スコア	備考
ケンブリッジ英語検定	120 以上	・取得時期は問いません。 但し、各試験の実施団体が有効期限や公式証明書を再発行できる期限を定めている場合があります。 証明書の原本が手元にない場合はご注意ください。
実用英語技能検定	準 2 級以上	
GTEC(アセスメント版を除く)	690 以上(2023 年 3 月末まで取得) 680 以上(2023 年度 4 月以降取得) ※※	
IELTS(Academic)	4.0 以上	
TEAP	135 以上	
TEAP CBT	235 以上	
TOEFL iBT®	42 以上	
TOEIC®(L&R/S&W) (公開テストのみ) ※	625 以上	
TOEIC Bridge®(L&R/S&W) (公開テストのみ) ※	129 以上	

※TOEIC および TOEIC Bridge (L&R/ S&W)については、S&W のスコアを 2.5 倍にして合算

※※ GTEC は、2023 年 4 月 1 日より新しい基準スコアを適用

●一般選抜（B日程）

調査書に基づいて外国語評定を行います。

(但し、ミュージック・リベラルアーツ専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻を除く)

■ 出願資格

以下の1. 2. 3. のいずれかに該当する者

1. 高等学校(特別支援学校の高等部を含む)または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
2. 高等専門学校の3年次を修了した者および2026年3月修了見込みの者
3. 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者(2026年3月31日修了見込みの者を含む)、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 指定された専修学校の高等課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 旧制学校等を修了した者
 - (5) 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCE Aレベル・国際Aレベル(いずれも3科目以上でE以上の評価を取得していること)、欧州バカロレア資格を保有する者および2026年3月31日までに保有見込みの者
 - (6) 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia)の認定を受けた教育施設12年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
 - (7) 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者および2026年3月31日までに合格見込みの者
 - (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者(「個別の入学資格審査について」参照)

※上記に加え、外国籍を有する者は声楽、器楽、作曲指揮、音楽文化教育、吹奏楽アカデミー、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻で受験する場合は、以下4. に該当していること(「永住者」を除く)。

4. 出願時に日本語能力試験(JLPT)でN2以上に合格している者、または日本留学試験(EJU)「日本語」(読解、聴解および聴読解のみ。記述を除く)で200点以上を取得している者

※ミュージック・リベラルアーツ専攻志願者は、出願時に4. の日本語能力の証明書を取得している必要はありませんが、日本の大学での授業や学生生活に十分な日本語能力は必要です。入学時まで、「日本語能力試験(JLPT)」N2以上、または日本留学試験(EJU)「日本語」(読解、聴解および聴読解のみ。記述を除く)で200点以上の取得に努めること。

※日本に在留する資格を有していない外国籍の方へ: 入試の期間や入学手続きの状況によっては、日本への渡航が授業開始に間に合わない恐れがあるので、余裕をもって申請してください。ビザ取得の審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。

□個別の入学資格審査について(出願資格 3. (8)により出願を希望する者)

- [対象者] 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者または卒業見込みの者で、2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者(出願資格 1. 2. 3. (1)～(7)に該当する者を除く)
※当該学校の中退学者は、高等学校卒業程度認定試験(大学入学試験検定を含む)に合格すること。
- [出願資格審査] 上記の者は、事前に出願資格審査を受け、出願資格を認められた場合に限り出願できるものとする。
- [申請期間] ①一般選抜(A 日程・B 日程)の志願者で、大学入学共通テストを受験する者
2025 年 9 月 5 日(金)～9 月 12 日(金)(必着)
②①以外の一般選抜(A 日程)志願者
2025 年 11 月 21 日(金)～12 月 1 日(月)(必着)
③①以外の一般選抜(B 日程)志願者
2026 年 1 月 6 日(火)～1 月 13 日(火)(必着)
- [申請方法] 次の書類を揃えて申請すること。なお、提出された書類は一切返却しない。
<申請書類> 1. 出願資格審査申請書(本学所定用紙)
2. 当該学校の教育が 12 年の課程であることを証明できるもの
3. 当該学校の卒業証明書または卒業見込証明書
4. 当該学校の成績証明書
5. 当該学校の教育内容を証明できるもの(当該学校の卒業要件となる履修科目および単位時間数一覧)
- [申請先] 〒153-8622 東京都目黒区上目黒 1-9-1 東京音楽大学 入試課
※「出願資格審査申請書類在中」と朱書きのこと
- [審査基準] 申請者の当該学校の教育内容等が、高等学校の教育内容と同等以上と認められ、かつ、申請者が卒業に必要な単位を修得または修得見込であること。
- [審査結果] 下記期日までに、メールで通知。
・申請期間①: 2025 年 9 月 19 日(金)
※認定を受けたものは、大学入学共通テスト出願時に「出願資格認定書」を添付して大学入試センターに手続きのこと。
・申請期間②: 2025 年 11 月 28 日(金)
・申請期間③: 2026 年 1 月 31 日(土)

<受験上・修学上の配慮を希望する志願者について>

疾病や障がいなどにより受験時や入学後の修学において特別な配慮が必要な場合、個別の状況に応じて必要かつ合理的な配慮を検討し、適切な支援を行っております。

合理的な配慮を希望される方は、URL もしくは QR コードより内容をご確認の上、申請を期日までに行ってください。

[URL]

<https://www.tokyo-ondai.ac.jp/information/43807.php>



[期日]

一般選抜(A 日程)、編入学・転入学試験	一般選抜(B 日程)
2025 年 12 月 1 日(月)	2026 年 1 月 6 日(火)

■専攻別試験科目・配点（A日程）

試験科目			大学入学共通テスト			資格		一般選抜（A日程）個別学力検査等											備考
			外国語	英語	任意の1科目	英語	英語	数学	専攻別実技試験	小論文	面接・口述試問（注3）	副科実技（ピアノ）	コーリュウ・ブンゲン	新曲視唱（注4）	初見演奏	聴音（和音・旋律）（注4）	聴音（四声体和声・旋律）（注4）	楽典（注4）	
専攻・コース名		配点	50点	100点	100点	（注1）	（注2）	各100点			各50点								ABC（3段階）
声楽	声楽芸術		選択①			選択①	選択①		○		○	○	選択②		選択②		○		
器楽	ピアノ・ピアノ演奏家コース		選択①			選択①	選択①		○				○			○	○		
	ピアノ・創作コース		選択①			選択①	選択①		○				○			○	○	○	専攻別実技試験はピアノ・創作コースのピアノ課題
	チェンバロ		選択①			選択①	選択①		○				○			○	○		
	オルガン		選択①			選択①	選択①		○		○		○			○	○		
	弦・管・打楽器		選択①			選択①	選択①		○		○		○		○		○		
作曲指揮	作曲「芸術音楽コース」		選択①			選択①	選択①		○		○		○			○	○		専攻別実技試験に面接を含む
	作曲「ミュージック・メディアコース」 （注5）		選択①			選択①	選択①		○				○		○		○		専攻別実技試験に小論文、面接を含む
	指揮		選択①			選択①	選択①		○		○		○			○	○		専攻別実技試験に小論文、面接を含む
音楽文化教育（注6）				選択①		選択①	選択①		○	○	○		選択②		選択②		選択②		
ミュージック・リベラルアーツ				選択①		選択①	選択①		○		○								
吹奏楽アカデミー			選択①			選択①	選択①		○		○	選択②		選択②	選択②	選択②		○	
ミュージックビジネス・テクノロジー					選択①	選択①	選択①	選択①		○（注7）	○								

※「選択」については、各専攻で同一番号の「選択」より1科目（音楽文化教育専攻の「選択②」のみ2科目）を選んで受験すること。

（注1）文部科学省が公表した CEFR との対照表に基づき、本学独自に換算する。

（注2）配点 100 点：音楽文化教育専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻
50 点：その他の専攻

（注3）面接・口述試問の内容は専攻によって異なる。

（注4）今年度本学受験講習会にて実施の認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

（注5）今年度本学ミュージック・メディア プレップ・コースにて認定された者は、本入試での「和声」・「伴奏付け」の科目のいずれか、または両方の試験を免除する。

（注6）専攻別実技試験：任意の演奏手段による音楽実技を行う。ピアノを選択しない場合は「基礎ピアノ」（自由曲1曲。レベル、ジャンルは問わない）を課す。

（注7）併願する場合は、小論文の試験を免除する。

■併願できる専攻・コース（A日程）

志望区分			第 2 志 望														
志望区分	専 攻	専 攻	声 楽	器 楽						作曲指揮			音 楽 文 化 教 育	ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ・ リ ベ ラ ル ア ー ツ	吹 奏 楽 ア カ デ ミ ー	ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ビ ジ ネ ス ・ テ ク ノ ロ ジ ー	
		声 楽 芸 術	ピ ア ノ	ピ ア ノ 演 奏 家 コ ー ス	ピ ア ノ ・ 創 作 コ ー ス	チ ェ ン バ ロ	オ ル ガ ン	弦 楽 器	管 打 楽 器	作 曲 「 芸 術 音 楽 コ ー ス 」	作 曲 「 ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ・ メ デ ィ ア コ ー ス 」	指 揮					
第 1 志 望	声 楽	声 楽 芸 術		○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○
	器 楽	ピ ア ノ	○		×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○
		ピ ア ノ 演 奏 家 コ ー ス	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
		ピ ア ノ ・ 創 作 コ ー ス	○	○	×		○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○
		チ ェ ン バ ロ	○	○	×	○		○	○	○	○	×	○	○	×	×	○
		オ ル ガ ン	○	○	×	○	○		○	○	○	×	○	○	×	×	○
		弦 楽 器	○	○	×	○	○	○		○	○	×	○	○	×	◆	○
		管 打 楽 器	○	○	×	○	○	○	○		○	×	○	○	×	×	○
	作 曲 指 揮	作 曲 「 芸 術 音 楽 コ ー ス 」	○	○	×	○	○	○	○	○		×	○	○	×	×	○
		作 曲 「 ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ・ メ デ ィ ア コ ー ス 」	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○
		指 揮	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×		○	×	×	○
	音 楽 文 化 教 育		○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○		×	×	○
	ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ・ リ ベ ラ ル ア ー ツ		○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○		×	○
	吹 奏 楽 ア カ デ ミ ー		×	×	×	×	×	×	◆	×	×	×	×	×	×		○
	ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ビ ジ ネ ス ・ テ ク ノ ロ ジ ー		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

◆器楽専攻 弦楽器（コントラバス、ハープ）と吹奏楽アカデミー専攻（コントラバス、ハープ）は併願可能。
 この場合、どちらが第一志望でも、器楽専攻と吹奏楽アカデミー専攻両方の実技試験を受けること。

■併願の試験科目について

第1志望	第2志望	第2志望専攻に必要な試験科目
声楽芸術	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、聴音(四声体和声・旋律)と新曲視唱の2科目
	弦・管打楽器	第2志望実技、聴音(和音・旋律)と新曲視唱の2科目
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{*1}
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
ピアノ	声楽芸術	第2志望実技、コールユープンゲン
	ピアノ・創作コース	創作
	チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、副科実技(ピアノ) (第2志望がチェンバロ以外の者) ^{*2}
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{*1}
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
ピアノ演奏家コース	指揮 ^{*6}	第2志望実技
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
ピアノ・創作コース	声楽芸術	第2志望実技、コールユープンゲン、副科実技(ピアノ) ^{*2}
	ピアノ	ピアノ実技試験は器楽専攻(ピアノ)の課題
	チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、副科実技(ピアノ) (第2志望がチェンバロ以外の者) ^{*2}
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{*1}
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
チェンバロ	声楽芸術	第2志望実技、コールユープンゲン、副科実技(ピアノ)
	ピアノ、ピアノ創作コース、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、副科実技(ピアノ) (第2志望がピアノ、ピアノ創作コース以外の者)
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{*1}
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
オルガン	声楽芸術	第2志望実技、コールユープンゲン
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技 ^{*3}
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{*1}
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
弦楽器	声楽芸術	第2志望実技、コールユープンゲン
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、聴音(四声体和声・旋律) ^{*4}
	管打楽器	第2志望実技
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{*1}
	吹奏楽アカデミー専攻(コントラバス、ハープ)	第2志望実技、面接および口述試験
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
管打楽器	声楽芸術	第2志望実技、コールユープンゲン
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、聴音(四声体和声・旋律) ^{*4}
	弦楽器	第2志望実技
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{*1}
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
作曲「芸術音楽コース」	声楽芸術	第2志望実技、コールユープンゲン
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、指揮	第2志望実技
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{*1}
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
作曲「ミュージック・メディアコース」	指揮 ^{*6}	第2志望実技
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
指揮	声楽芸術	第2志望実技、コールユープンゲン
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、弦・管打楽器、作曲「芸術音楽コース」	第2志望実技
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{*1}
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
音楽文化教育	声楽芸術	第2志望実技、コールユープンゲン、副科実技(ピアノ)、楽典(第1志望受験時に楽典を選択しなかった者)
	ピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ、オルガン、作曲「芸術音楽コース」、指揮	第2志望実技、聴音(四声体和声・旋律)、新曲視唱、楽典(第1志望受験時に楽典を選択しなかった者)
	弦・管打楽器	副科実技(ピアノ) (第2志望がピアノ、ピアノ創作コース、チェンバロ以外の者)
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	第2志望実技、副科実技(ピアノ)、聴音(和音・旋律)・新曲視唱・楽典から第1志望受験時に選択しなかった1科目
ミュージック・リベラルアーツ * 第2志望の実技課題を受験	声楽芸術	第2志望実技*、コールユープンゲン、副科実技(ピアノ)、聴音(和音・旋律)・新曲視唱(選択)、楽典
	ピアノ、ピアノ演奏家コース、チェンバロ、オルガン	第2志望実技*、聴音(四声体和声・旋律)、新曲視唱、楽典
	弦・管打楽器	第2志望実技*、聴音(和音・旋律)、副科実技(ピアノ)、新曲視唱、楽典
	指揮 ^{*6}	第2志望実技
	音楽文化教育専攻	小論文・口述試験 ^{*1}
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	面接
吹奏楽アカデミー	弦楽器(コントラバス・ハープ)	第2志望実技、新曲視唱、聴音(和音・旋律)、副科実技(ピアノ)
	指揮 ^{*6}	第2志望実技
	ミュージックビジネス・テクノロジー専攻	選択科目 ^{*5} 、面接
ミュージックビジネス・テクノロジー	指揮 ^{*6}	第2志望実技

- ※1 任意の音楽実技(5分程度)を含む。鍵盤楽器以外を選択した場合は「基礎ピアノ」を課す。
- ※2 副科実技(ピアノ)は、ピアノ実技試験の成績を50点満点に換算したもので評価します。
- ※3 作曲「芸術音楽コース」または指揮を第2志望とする場合の副科実技(ピアノ)は、第2志望の課題で受験すること。
- ※4 オルガン、作曲「芸術音楽コース」または指揮を第2志望とする場合の副科実技(ピアノ)は、第2志望の課題で受験すること。
- ※5 B日程志願者は選択科目より1つを選択すること。
- ※6 B日程のみ併願可。

◆ B日程で指揮を第2志望とする場合、第2志望実技は小論文および面接のみ。

■専攻別試験科目・配点（B日程）

試験科目		大学入学共通テスト	調査書		資格		一般選抜（B日程）個別学力検査等														備考
		任意の1科目	外国語	外国語	英語	英語	数学	専攻別実技試験	小論文	面接・口述試験 （注5）	副科実技（ピアノ）	コールドアップンゲン	新曲視唱（注6）	初見演奏	聴音（和音・旋律） （注6）	聴音（四声休和声・旋律） （注6）	楽典（注6）	創作			
専攻・コース名		配点	100点	50点 （注1）	100点 （注2）	（注3）	（注4）	各100点				各50点							ABC （3段階）		
音楽	音楽芸術		○					○			○	○	選択①		選択①		○				
器楽	ピアノ/ピアノ演奏家コース		○					○					○			○	○				
	ピアノ・創作コース		○					○					○			○	○	○ 専攻別実技試験はピアノ・創作コースのピアノ課題			
	チェンバロ		○					○					○			○	○				
	オルガン		○					○			○		○			○	○				
	弦・管・打楽器		○					○			○		○		○		○				
作曲指揮	作曲「芸術音楽コース」		○					○			○		○			○	○	専攻別実技試験に面接を含む			
	作曲「ミュージック・メディアコース」 ^{（注7）}		○					○					○			○	○	専攻別実技試験に小論文、面接を含む			
	指揮 ^{（注8）}		○					○			○		○			○	○	専攻別実技試験に小論文、面接を含む			
音楽文化教育 ^{（注9）}				○				○	○	○			選択①		選択①		選択①				
ミュージック・リベラルアーツ						選択①	選択①		○	○											
吹奏楽アカデミー			○					○		○	選択①		選択①	選択①	選択①		○				
ミュージックビジネス・テクノロジー		選択①				選択①	選択①	選択①		○ （注10）	○										

※「選択」については、各専攻で同一番号の「選択」より1科目を選んで受験すること。

- (注1) 調査書3年間の外国語の学習成績の状況(評定平均値)を50点に換算します。
 ※卒業後、5年以上の経過者または、廃校、被災その他の事情により高校から調査書が発行できない場合は、大学の英語の試験を受けること。
- (注2) 調査書3年間の外国語の学習成績の状況(評定平均値)を100点に換算します。
 ※卒業後、5年以上の経過者または、廃校、被災その他の事情により高校から調査書が発行できない場合は、大学の英語の試験を受けること。
- (注3) 文部科学省が公表したCEFRとの対照表に基づき、大学独自に換算する。
- (注4) 配点100点：音楽文化教育専攻、ミュージック・リベラルアーツ専攻、ミュージックビジネス・テクノロジー専攻
 50点：その他の専攻
- (注5) 面接・口述試験の内容は専攻によって異なる。
- (注6) 今年度大学受験講習会にて実施の認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。
- (注7) 今年度大学ミュージック・メディア プレップ・コースにて認定された者は、本入試での「和声」・「伴奏付け」の科目のいずれか、または両方の試験を免除する。
- (注8) ≪対象2≫の場合は、専攻別実技試験(小論文および面接)のみ。
- (注9) 専攻別実技試験：任意の演奏手段による音楽実技を行う。ピアノを選択しない場合は「基礎ピアノ」(自由曲1曲。レベル、ジャンルは問わない)を課す。
- (注10) 併願する場合は、小論文の試験を免除する。

■併願できる専攻・コース（B日程）

志望区分		第 2 志 望																
		専 攻	声 楽	器 楽							作曲指揮			音 楽 文 化 教 育	ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ・ リ ベ ラ ル ア ー ツ	吹 奏 楽 ア カ デ ミ ー	ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ビ ジ ネ ス ・ テ ク ノ ロ ジ ー	
専 攻		声 楽 芸 術	ピ ア ノ	ピ ア ノ 演 奏 家 コ ー ス	ピ ア ノ ・ 創 作 コ ー ス	チ ェ ン バ ロ	オ ル ガ ン	弦 楽 器	管 打 楽 器	作 曲 「 芸 術 音 楽 コ ー ス 」	作 曲 「 ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ・ メ デ ィ ア コ ー ス 」	指 揮						
		声 楽	声 楽 芸 術	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
第 1 志 望	器 楽	ピ ア ノ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
		ピ ア ノ 演 奏 家 コ ー ス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
		ピ ア ノ ・ 創 作 コ ー ス	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
		チ ェ ン バ ロ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
		オ ル ガ ン	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
		弦 楽 器	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	◆	×	○
		管 打 楽 器	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
	作 曲 指 揮	作 曲 「 芸 術 音 楽 コ ー ス 」	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
		作 曲 「 ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ・ メ デ ィ ア コ ー ス 」	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
		指 揮	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	○
	音 楽 文 化 教 育		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		×	×	×	○
	ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ・ リ ベ ラ ル ア ー ツ		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		×	×	○
吹 奏 楽 ア カ デ ミ ー		×	×	×	×	×	×	◆	×	×	×	○	×	×		×	○	
ミ ュ ー ジ ャ ッ ク ビ ジ ネ ス ・ テ ク ノ ロ ジ ー		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×		

◆器楽専攻 弦楽器（コントラバス、ハープ）と吹奏楽アカデミー専攻（コントラバス、ハープ）は併願可能。

この場合、どちらが第一志望でも、器楽専攻と吹奏楽アカデミー専攻両方の実技試験を受けること。